

平成29年度農泊セミナー事業 受入団体公募要領

1. はじめに

平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「滞在型農山漁村の確立・形成」が位置付けられ、滞在を伴うインバウンド需要を農山漁村に呼び込み、日本ならではの伝統的な生活体験と農山漁村地域の人々との交流を楽しむ農山漁村滞在型旅行である「農泊」の推進を図ることとされています。

「農泊」を農山漁村の所得向上を実現する上での重要な柱として位置付け、主要観光地に集中しているインバウンド含めた旅行者を農山漁村に呼び込み、宿泊者や農林水産物の消費拡大を図ることが重要です。

このため、農泊の先進的な取組を行う団体を受入先とし、農泊に取り組む意欲のある民間企業や地域協議会等に所属する方々を受講者として派遣することで、実践的な環境において、農泊の持続的な発展に寄与できる人材を育成することを目的とした、農泊セミナーを実施します。

2. 目的

農泊に取り組む意欲のある民間企業及び農泊の取組を目的として、地域協議会等の設立又は設立準備を行っている組織に所属する方をはじめ、農泊や観光地域づくりに取り組む意欲のある方々等を受講対象者として募集し、審査に通過した受講者を約1ヶ月間受入していただきます。

滞在期間中には、受講者の地域が目指すべき農泊の運営手法や観光素材の商品化といったノウハウを実践的な経験を通じて学んでいただきます。

本セミナーを通じて、受講者のみならず受入団体の双方に学びの機会を醸成し、農泊ビジネス全体の基礎知識向上と農泊コーディネーターの育成を目的とします。

このたび、本セミナーの受入団体を以下の要領で公募します。

3. 公募期間

平成29年7月10日（月）～平成29年8月23日（水）

※申請書の提出期限は締切日平成29年8月23日（水）の17時となります。

4. 概要

(1) 受入団体の選定

①一次審査

農泊セミナー事務局（株式会社パソナ）による書類選考

※必要に応じて個別ヒアリング実施

②最終決定

一次審査を通過したセミナー参加希望者を対象に、農泊セミナー事務局（以下、「事務局」という。）及び外部有識者等が構成する選定委員会にて、最終決定を行う。

※受講者の募集は、事務局が実施する。

※上記の選定の結果により、受講者の受入に至らないこともありますのでご了承ください。

（2）セミナー計画書の作成

受入団体はセミナー開始に先立ち、以下の事項等について詳細に記載したセミナー計画書を作成し、事務局へ提出するものとし、事務局の了解を得たのち、セミナーを開始するものとする。

【想定するセミナーテーマ（例）】

	セミナー目的	想定される実施内容
1	ビジネススキル・ノウハウ習得に関するセミナー	■地域連携推進・強化 ・地域住民や農泊受入家庭、関連団体との連携体制の強化 ■商品・サービス開発 ・ハード事業（遊休施設、古民家改修など） ・ソフト事業（宿泊、体験、飲食、小売など） ■マーケティング ・旅行会社、DMO、観光協会、地域商社等との組織間連携
2	経営戦略・経営哲学等の習得に関するセミナー	・プロデューサー（代表等）との実践的ノウハウ習得（経営戦略、経営哲学等の習得）
3	人材確保・育成に関するスキル・ノウハウ習得に関するセミナー	■人材確保 ・外部人材の確保（移住・UIJ ターン施策）の取組 ・地域住民の雇用、ボランティア確保の取組 ■人材育成 ・組織内・地域内向け各種研修会の開催

（3）農泊セミナーの実施

①全体のスケジュール

全体のスケジュールは以下を想定している。

キックオフセミナー及び成果報告合宿については、農泊セミナーの受入団体及び受講者が一同に会するものとなるため、原則参加すること。

	実施内容	実施時期	実施目的・概要
1	キックオフセミナー（東京都内にて開催を想定）	11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の意義や目指す成果等、方向性の統一 ・受入団体、受講者の本事業参加に関する目的・目標等の再設定 ・受入団体と受講者とのセミナーの実施目的・内容・スケジュールの確認 ・参加者間のネットワーキング
2	セミナー実施（受入団体所在地域）	11月中旬～2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な環境下での農泊推進に資する実務的・実践的スキル・経験・ノウハウ等の習得 ・受講者の個人又は自団体の事業計画
3	成果発表合宿（東京都内開催を想定）	2月下旬～3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの実施内容及び成果の共有 ・事業計画書（アクションプラン）の磨き上げ ・参加者間のネットワーキング

②農泊セミナーの実施について

- ・セミナーは1団体につき2名程度の受講者の受入を想定している。
- ・受け入れる受講者は10月下旬に公表を予定している。
- ・セミナーは、30日程度、原則受入団体所在地域にて実施すること。なお、受講者のセミナー実施期間は2名同時を基本想定しているが、受入団体及び受講者の事情等を勘案し、受入を行う。
- ・セミナーは原則キックオフセミナー開催後～平成30年2月28日までの期間実施すること。
- ・セミナーの実施にあたって、受入担当者となるスーパーバイザーを団体内で1名以上配置し、受講者とのコミュニケーションや日常業務へのフォローなどを行うこと。（ただし、スーパーバイザーは、フルタイムでなくても構わない。）
- ・スーパーバイザーは定期的に受講者とコミュニケーションを図り、受講者の学びを深め、セミナー効果を高める機会を設けること。
- ・受入団体のプロデューサー（代表者等）が受講者へのセミナー時間を一定程度確保すること。
- ・受講者の受入にあたって、機密保持・個人情報保護の対策などについて、農泊セミナー事務局と綿密な連携を図り、農泊セミナーが円滑に行われるよう努めること。

5. 参加資格条件

本事業に応募する受入団体は、下記（1）～（7）の要件を満たしていることが求められます。

- (1) 予算決算及び会計令※第七十条及び第七十一条の規定に該当する者ではないこと。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第2条第2項に規定する暴力団に該当する者ではないこと。
- (3) 「農泊の先進的な取り組みを実践している事」や「人材育成の実績があるもしくは人材育成体制が整備されている」等、セミナー受講者への指導ができる体制が整っていること。
- (4) 地域の観光関連事業者との良好な関係を構築し多角的に事業展開されている団体であり、教育旅行や個人旅行者の受入を国内外より積極的に実施している実績があること。
- (5) 人材育成やインターンシップの実績、もしくは研修プログラムを策定できる力を有していること。
- (6) 本事業の実施に必要な能力、組織、人員、経験等を有していること。
- (7) 本事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。

6. 提出書類

- ①（様式1-1）平成29年度農泊セミナー受入団体申請書
- ②（様式1-2）個人情報の取扱い等に関する同意書
- ③（様式1-3）反社会的勢力排除に関する誓約書
- ④ 設立趣意書、定款、寄附行為、規約等
- ⑤ 申請者の活動内容の概要が分かる資料
- ⑥ 直近1年間の収支決算（決算書、貸借対照表、損益計算書。設立して間もない団体については、設立後現在までの間の資料。）
- ⑦ プロジェクトの活動の様子分かる写真（2～5枚程度）
※1メガバイト以上推奨（事務局へのE-mailにて提出）

7. 受入団体条件

- ・1日あたり18,000円×30日間×受入人数で積算する。
- ・キックオフセミナー及び成果報告合宿に原則参加すること。また、参加に要する旅費については受入団体につき2名まで事務局より支給することとする。
- ・上記費用については事務局と受入団体で定める規定に準じて支払うものとする。

（ご参考）

以下の費用については事務局から別途規定により受講者に対して支給する。

- ・受講者のキックオフセミナー、成果報告合宿参加のための旅費
- ・受講者のセミナー受入団体所在地までの旅費、滞在費用（滞在に要する経費は1ヶ

月あたり最大14万円/人まで支給)

・受講者の日当

※受講者旅費・交通費規定に基づき支給

8. 提出先・お問い合わせ先

〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2

農泊セミナー事務局（株式会社パソナ内）

担当：星野、小柳

Tel：03-6734-1058

E-mail：nouhaku@pasona.co.jp

※お問合せは電子メールでお願いします。